

コストパフォーマンスを考えた嫌気性菌分離平板培地の選択

嫌気性菌感染症は主に複数菌感染症であるため、嫌気性菌の他に通性嫌気性菌等、多種類の菌が検出されることが多く、嫌気性菌検査ガイドライン2012では、初代分離培養には非選択培地に加え、**検体の種類やグラム染色所見から選択培地を併用する**ことが推奨されています。

当社では検査コストを考慮し、**非選択と選択の2種類の培地を組み合わせた分画培地**を揃えています。当社の分画培地の特徴は、2種類の培地がシャーレ中央の隔壁よりも高く充填されていることから、検体塗布時には1枚の培地のようにエーゼをスムーズに動かすことができ、孤立コロニーが形成されやすくなっています。



検体別に使い分けるための2種類の分画培地

I. 横隔膜より上の材料には、グラム陽性菌を抑制するNV加の選択培地を組み合わせたアキュレート™ 分画 ABHK寒天/NV加ABHK寒天

SHIMADZU Excellence in Science 各種臨床材料からの嫌気性菌の分離用培地

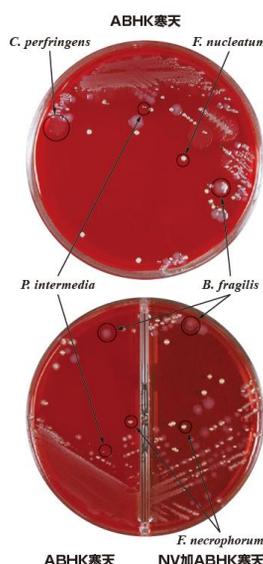
アキュレート™ **ABHK寒天培地**
アキュレート™ 分画 **ABHK寒天/NV加ABHK寒天**

特長

- ABHK寒天培地は、ヒツジ・ウサギ脱繊維血液を併用した嫌気性(Anaerobic)血液寒天(Blood agar)です。また、ヘミン(H)とビタミンK1(K)を含みますので嫌気性菌全般の分離培養ができます。
- NV加ABHK寒天培地は、ナリジクス酸(N)とバンコマイシン(V)が添加されていますので効率的に嫌気性グラム陰性桿菌を選択分離できます。

発育例

- 黒色色素産生菌(*Prevotella* 属や *Porphyromonas* 属)の発育は良好で、黒色集落を形成します。
- *Clostridium* 属や *Fusobacterium* 属等は特異的な集落を形成します。
- ABHK寒天培地では、*C. perfringens* の逆CAMP試験が可能です。



簡易同定
検査へ

II. 横隔膜より下の材料には、*B. fragilis* groupを選択するBBEを組み合わせたアキュレート™ 分画 ABHK寒天/BBE寒天

SHIMADZU Excellence in Science *Bacteroides fragilis* groupの選択分離用培地

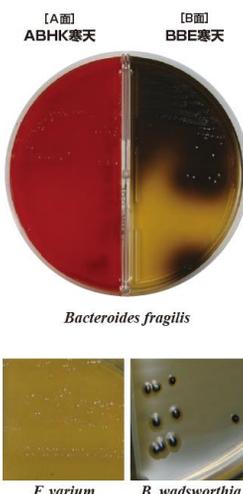
アキュレート™ 分画 **ABHK寒天/BBE寒天**

特長

- [A面] ABHK寒天培地 (*反対側参照)
[B面] BBE寒天培地
- *Bacteroides fragilis* group を効率良く選択分離できます。

BBE寒天培地の発育例

- *B. fragilis* group は、培地中に含まれるエスクリンを加水分解することで集落とその周辺を黒変させます。
- 培地中に含まれる選択剤(ウシ胆汁とゲンタマイシン)により通性嫌気性菌と *B. fragilis* group 以外の嫌気性菌は、概ね発育が抑制されます。
- *B. fragilis* group 以外にも *Fusobacterium varium*、*F. mortiferum*、*Bilophila wadsworthia* が発育します。



簡易同定
検査へ

